

上北山村の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

| 区 分 | 住民基本台帳人口 (令和7年1月1日) | 歳 出 額 A | 実質収支 | 人 件 費 B | 人件費率 B/A | (参考) 令和5年度の人件費率 |
|-----------|------------------------|-----------------|---------------|---------------|-------------|--------------------|
| 令和6 年度 | 421人 | 千円 1,904,230 | 千円 212,017 | 千円 426,622 | % 22.4 | % |
| | | | | | | 20.5 |

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

| 区 分 | 職員数 A | 給 与 費 | | | |
|-----------|----------|---------------|--------------|--------------|---------------|
| | | 給 料 | 職員手当 | 期末・勤勉手当 | 計 B |
| 令和6 年度 | 37人 | 千円 130,526 | 千円 30,857 | 千円 51,336 | 千円 212,719 |

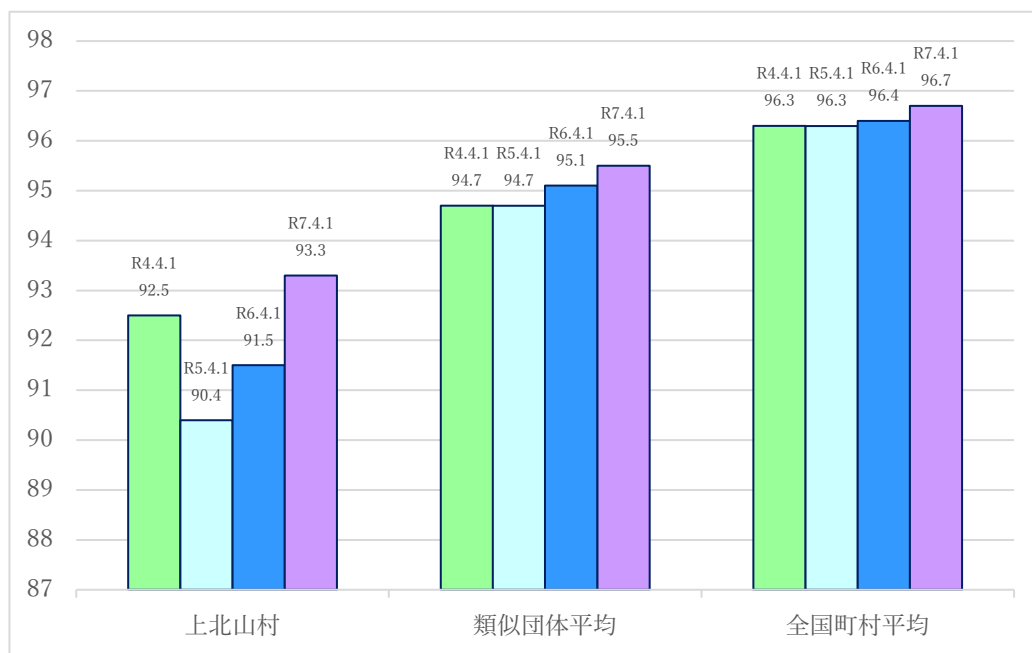
| (参考)一人当た り給与費 B/A | (参考)類似団 体平均一人当 たり給与費 |
|-------------------------|----------------------------|
| 千円 5,749 | 千円 5,693 |

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。

2 職員数については、令和6年4月1日現在の人数である。また、任期付短時間勤務職員、暫定再任用職員（短時間勤務）、定年前再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員を含まない。

3 給与費については、任期付短時間勤務職員、暫定再任用職員（短時間勤務）及び定年前再任用短時間勤務職員の給与費が含まれているが、会計年度任用職員の給与費は含まれていない。

(3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
- 2 () 書きの数値は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指す。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給割合を用いて補正したラスパイレス指数。
(補正前のラスパイレス指数×(1+当該団体の地域手当支給割合) / (1+国の指定基準に基づく地域手当支給割合)により算出。)
- 3 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
- 4 ラスパイレス指数(地域手当補正後ラスパイレス指数を含む)の算出に当たっては、60歳に達した日後の最初の4月1日以後に支給される給料月額について、本来の給料月額の7割水準に設定される職員を除いている。

※ 令和7年4月1日のラスパイレス指数が、①3年連続で上昇している場合、②100を超えている場合について、その理由(給与制度又はその運用を踏まえ記載すること)

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国家公務員給与においては、行政職俸給表(一)において3級から7級までの初号近辺の号俸をカットし、これらの級の初号の俸給月額の上上げを行うとともに、8級から10級の隣接する級間での俸給月額の重なるの解消等を行っている。その他、各種手当について見直しを行っている。

①給料表の見直し

[実施 未実施]

実施内容(実施(実施予定)時期、具体的な実施内容(未実施の場合には、その理由))

(給料表の改定実施時期) 令和7年4月1日

(内容) 一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、3級から5級までの初号近辺の号給をカットし、これらの級の初号の給料月額の上上げを実施。(国の8級以上に相当する級がないため、隣接する級間での給料月額の重なるの解消は実施していない。)

②地域手当の見直し

段階的に支給割合を引き上げることとし、令和7年4月1日の段階では2%となっている。

③その他の見直し内容

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（令和7年4月1日現在）

① 一般行政職

| 区分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均給与月額 (国比較ベース) |
|------|-------|----------|----------|--------------------|
| 上北山村 | 41.1歳 | 304,347円 | 384,872円 | 338,962円 |
| 奈良県 | 42.3歳 | 329,304円 | 420,139円 | 372,087円 |
| 国 | 41.9歳 | 332,237円 | — | 414,480円 |
| 類似団体 | 41.3歳 | 309,914円 | 360,723円 | 341,445円 |

② 技能労務職

| 区分 | 公務員 | | | | 民間 | | | 参考 A/B |
|------|---------|--------|----------|---------------|--------------------|-----------------|-------|-----------|
| | 平均年齢 | 職員数 | 平均給料月額 | 平均給与月額 (A) | 平均給与月額 (国比較ベース) | 対応する民間 の類似職種 | 平均年齢 | |
| 上北山村 | — | 2人 | — | — | — | — | — | — |
| | うち給食調理員 | 1人 | — | — | — | 飲食物調理従事者 | 45.3歳 | 277,100円 |
| | うちその他 | 1人 | — | — | — | — | — | — |
| 奈良県 | 53.7歳 | 140人 | 309,925円 | 366,087円 | 341,488円 | — | — | — |
| 国 | 51.3歳 | 1,703人 | 294,567円 | — | 337,907円 | — | — | — |
| 類似団体 | 47.5歳 | 2人 | 271,215円 | 306,241円 | 290,441円 | — | — | — |

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。（令和4年～6年の3ヵ年平均。）

※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※個人が特定されるものについては公表しない（2人以下に項目）

（注）1 「平均給料月額」とは、令和7年4月1日現在における職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額（国比較ベース）」は、比較のため、国家公務員と同じベース（＝時間外勤務手当等を除いたもの）で算出している。

(2) 職員の初任給の状況（令和7年4月1日現在）

| 区分 | | 上北山村 | 奈良県 | 国 |
|-------|-----|----------|----------|----------|
| 一般行政職 | 大学卒 | 220,000円 | 256,000円 | 220,000円 |
| | 高校卒 | 188,000円 | 194,500円 | 188,000円 |
| 技能労務職 | 高校卒 | 185,700円 | 185,700円 | — |
| | 中学卒 | — | — | — |

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（令和7年4月1日現在）

| 区分 | | 経験年数10年以上 15年未満 | 経験年数25年以上 30年未満 | 経験年数30年以上 35年未満 |
|-------|-----|--------------------|--------------------|--------------------|
| 一般行政職 | 大学卒 | 284,485円 | 376,025円 | ※円 |
| | 高校卒 | ※円 | ※円 | ※円 |

1. 該当者がいない場合については「—」としている。

2. 対象となる職員が3人未満の場合は、個人の特定を避けるため「※」としている。

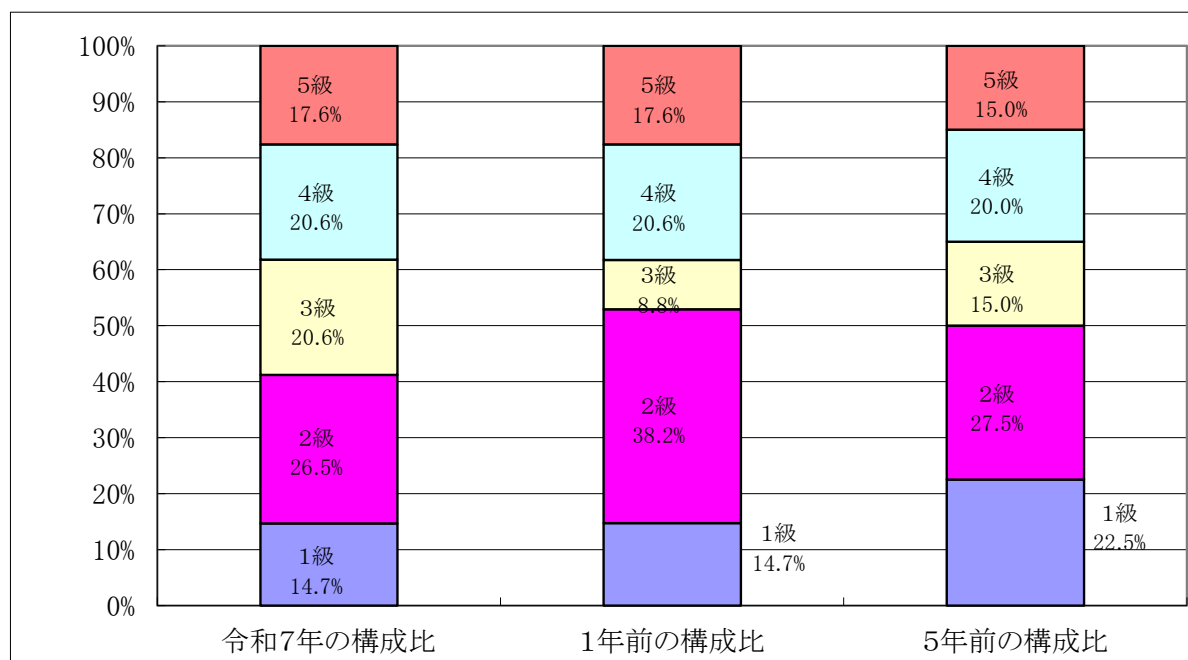
3. 技能労務職の職員は対象となる職員が3人未満のため、個人の特定を避けるため非掲載。

3 一般行政職の級別職員数等の状況

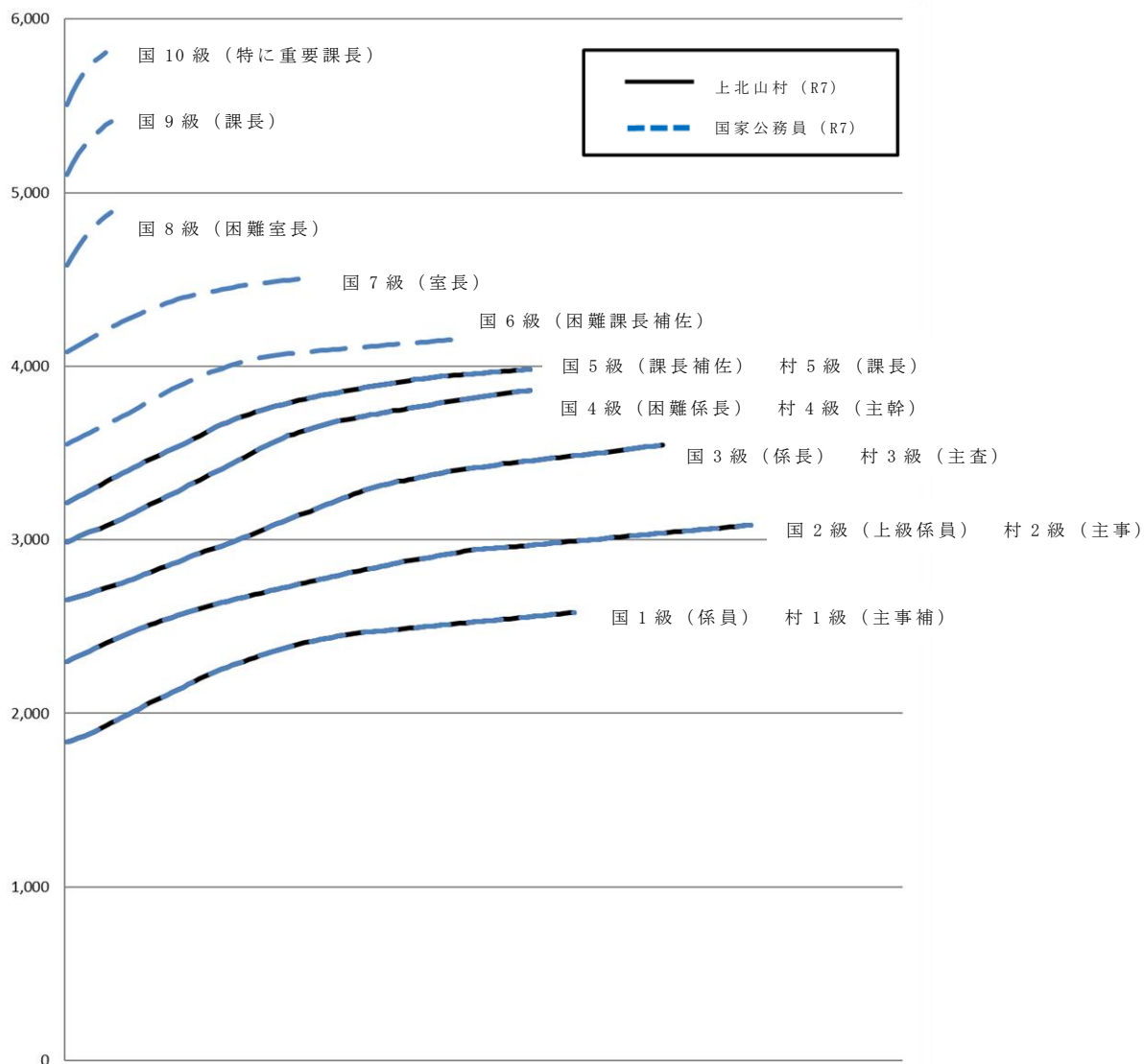
(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（令和7年4月1日現在）

| 区分 | 標準的な職務内容 | 職員数 | 構成比 | 1号給の給料月額 | 最高号給の給料月額 |
|----|--------------------|-----|-------|----------|-----------|
| 5級 | 課長 事務長 次長、局長 | 6人 | 17.6% | 321,300円 | 398,200円 |
| 4級 | 主幹 次長 局長 | 7人 | 20.6% | 298,800円 | 386,100円 |
| 3級 | 主査 | 7人 | 20.6% | 265,300円 | 354,700円 |
| 2級 | 主事 技師 | 9人 | 26.5% | 230,000円 | 308,500円 |
| 1級 | 主事補 技師補 | 5人 | 14.7% | 183,500円 | 258,100円 |

- (注) 1 上北山村の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（令和7年4月1日現在）



(3) 昇給への人事評価の活用状況（一般行政職）（上北山村）

| 令和7年度中における運用 | 管理職員 | | 一般職員 | |
|-----------------|---------|-----------|---------|-----------|
| | 昇給可能な区分 | 昇給実績がある区分 | 昇給可能な区分 | 昇給実績がある区分 |
| イ. 人事評価を活用している | ○ | | ○ | |
| 活用している昇給区分 | | | | |
| 上位、標準、下位の区分 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 上位、標準の区分 | | | | |
| 標準、下位の区分 | | | | |
| 標準の区分のみ（一律） | | | | |
| ロ. 人事評価を活用していない | | | | |
| 活用予定時期 | | | | |

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

| 上北山村 | 奈良県 | 国 |
|--|--|--|
| 1人当たりの平均支給額 (令和6年度) 1,264千円 | 1人当たりの平均支給額 (令和6年度) 1,640千円 | — |
| (令和6年度支給割合) 期末手当 2.50月分 勤勉手当 2.10月分 (1.40)月分 (1.00)月分 | (令和6年度支給割合) 期末手当 2.50月分 勤勉手当 2.10月分 (1.40)月分 (1.00)月分 | (令和6年度支給割合) 期末手当 2.50月分 勤勉手当 2.10月分 (1.40)月分 (1.00)月分 |
| (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%～10% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%～20% ・管理職加算 10%～20% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%～10% ・管理職加算 10%～20% |

(注) ()内は、暫定再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への人事評価の活用状況（一般行政職）（上北山村）

| 令和7年度中における運用 | 管理職員 | | 一般職員 | |
|-----------------|----------|------------|----------|------------|
| イ. 人事評価を活用している | ○ | | ○ | |
| 活用している成績率 | 支給可能な成績率 | 支給実績がある成績率 | 支給可能な成績率 | 支給実績がある成績率 |
| 上位、標準、下位の成績率 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 上位、標準の成績率 | | | | |
| 標準、下位の成績率 | | | | |
| 標準の成績率のみ（一律） | | | | |
| ロ. 人事評価を活用していない | | | | |
| 活用予定時期 | | | | |

(2) 退職手当（令和7年4月1日現在）

| 上北山村 | 国 |
|--|--|
| (支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 19.6695月分 24.586875月分 勤続25年 28.0395月分 33.27075月分 勤続35年 39.7575月分 47.709月分 最高限度 47.709月分 47.709月分 その他の加算措置 ・定年前早期退職特例措置 (割増2～45%) 1人当たり平均支給額 718千円 | (支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 19.6695月分 24.586875月分 勤続25年 28.0395月分 33.27075月分 勤続35年 39.7575月分 47.709月分 最高限度 47.709月分 47.709月分 その他の加算措置 ・定年前早期退職特例措置 (割増2～45%) |

(注) 1 退職手当の1人当たり平均支給額は、6年度に退職した職員に支給された平均額である。

2 「応募認定・定年」のうち「定年」には、定年退職及び定年引上げ前の定年年齢に達した日以後その者の非違によることなく退職した場合を含む。

(3) 地域手当（令和7年4月1日現在）

| | | | |
|--------------------------|------|---------|------------|
| 支給実績（令和6年度決算） | | 0千円 | |
| 支給職員1人当たり平均支給年額（令和6年度決算） | | 0円 | |
| 支給対象地域 | 支給割合 | 支給対象職員数 | 国の制度（支給割合） |
| | 0% | 人 | % |

(4) 特殊勤務手当（令和7年4月1日現在）

| | | | | |
|--------------------------|-----------------------------|-------------------------------|-------------------|------------------|
| 支給実績（令和6年度決算） | | 2,540千円 | | |
| 支給職員1人当たり平均支給年額（令和6年度決算） | | 141,000円 | | |
| 職員全体に占める手当支給職員の割合（令和6年度） | | 48.6% | | |
| 手当の種類（手当数） | | 2件 | | |
| 手当の名称 | 主な支給対象職員 | 主な支給対象業務 | 支給実績 （令和6年度決算） | 左記職員に対する支給 単価 |
| 感染症防疫作業 手当 | 感染症防疫に従事 する職員 | 感染症患者の救 護・感染症菌付 着物件処理業務 | 0千円 | 日額800円 |
| 防災手当 | 村内の住民票所在 地より通勤してい る職員 | 防災に関わる業 務 | 2,540千円 | 1件当たり10,000円 |

(5) 時間外勤務手当

| | |
|----------------------|---------|
| 支給実績（令和6年度決算） | 7,801千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（6年度決算） | 339千円 |
| 支給実績（令和5年度決算） | 7,734千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（5年度決算） | 234千円 |

（注） 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（令和6年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む

(6) その他の手当 (令和7年4月1日現在)

| 手 当 名 | 内容及び支給単価 | 国の制度との異同 | 国の制度と異なる内容 | 支給実績 (6年度決算) | 支給職員1人当たり 平均支給年額 (6年度決算) |
|-------|--|----------|------------|-----------------|--------------------------------|
| 扶養手当 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 配偶者 3,000円 ・ 子 11,500円 ・ 父母等 6,500円 ・ 満15歳の年度初めから満22歳の年度末までの子1人につき5,000円を加算 | 同じ | — | 3,401千円 | 188,944円 |
| 住居手当 | 借家 家賃(月額16,000円を超える場合に限る)に応じた額 上限28,000円 | 同じ | — | 3,234千円 | 323,420円 |
| 通勤手当 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車等使用者距離区分に応じて支給 2,000円～316,000円 ・ 交通機関を利用する者 最高限度額 55,000円 | 同じ | — | 5,788千円 | 186,696円 |
| 管理職手当 | 管理監督の職にある職員に支給 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課長級 461,000円 ・ 主幹級 312,000円 | 異なる | 支給額 | 5,574千円 | 222,960円 |
| 宿日直手当 | 1回 4,400円 | 同じ | — | 2,257千円 | 112,850円 |

5 特別職の報酬等の状況（令和7年4月1日現在）

| 区 分 | | 給 料 月 額 等 | |
|------------------|--------------------------|---------------------------|--|
| 給 料 | 市 区 町 村 長 | 660,000円 (660,000円) | (参考) 類似団体における最高/最低額 814,000円 / 457,500円 |
| | 副 市 区 町 村 長 | 580,000円 (580,000円) | 651,000円 / 440,000円 |
| 報 酬 | 議 長 | 200,000円 (200,000円) | 360,000円 / 171,000円 |
| | 副 議 長 | 170,000円 (170,000円) | 320,000円 / 142,000円 |
| | 議 員 | 160,000円 (160,000円) | 300,000円 / 121,000円 |
| 期 末 手 当 | 市 区 町 村 長 副 市 区 町 村 長 | (令和6年度支給割合) 3.40月分 | |
| | 議 長 副 議 長 議 員 | (令和6年度支給割合) 3.40月分 | |
| 退 職 手 当 | 市 区 町 村 長 | (算定方式) (1期の手当額) (支給時期) | |
| | 副 市 区 町 村 長 | 給料月額×在職年数×520/100 1,373万円 | 任期毎 |
| | | 給料月額×在職年数×330/100 766万円 | 任期毎 |
| | 備 考 | | |

- (注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。
 2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

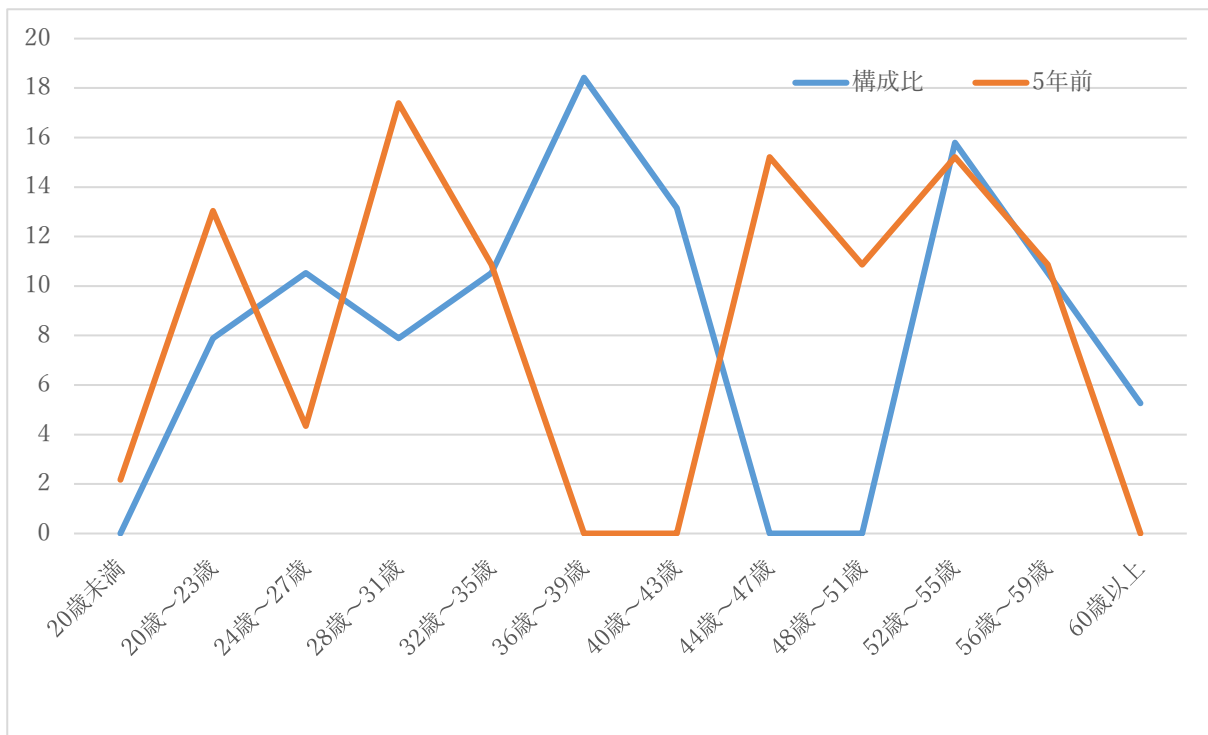
(各年4月1日現在)

| 部 門 | 区 分 | | 職 員 数 | | 対 前 年 増 減 数 | 主 な 増 減 理 由 |
|----------------------------|----------------------------|------|-------|------|---|---|
| | | | 令和7年 | 令和6年 | | |
| 普 通 会 計 部 門 | 一 般 行 政 部 門 | 議 会 | 1 | 1 | 0 | 異 動 に 伴 う 減 退 職 に 伴 う 減 採 用 に 伴 う 増 採 用 に 伴 う 増 < 参 考 > 人 口 1 万 当 た り 職 員 数 783.84人 (類 似 団 体 の 人 口 1 万 当 た り の 職 員 数 227.58人) |
| | | 総 務 | 10 | 11 | ▲ 1 | |
| | | 税 務 | 1 | 1 | 0 | |
| | | 農 水 | 2 | 3 | ▲ 1 | |
| | | 商 工 | 9 | 8 | 1 | |
| 土 木 | | 3 | 3 | 0 | | |
| 民 生 | 4 | 4 | 0 | | | |
| 衛 生 | 3 | 2 | 1 | | | |
| | 計 | 33 | 33 | 0 | | |
| | 教 育 部 門 | 5 | 4 | 1 | 採 用 に 伴 う 増 | |
| | 消 防 部 門 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 小 計 | 38 | 37 | 1 | < 参 考 > 人 口 1 万 当 た り 職 員 数 902.61人 (類 似 団 体 の 人 口 1 万 当 た り の 職 員 数 265.35人) | |
| 公 営 企 業 計 等 部 門 | そ の 他 | 5 | 5 | 0 | | |
| | 小 計 | 5 | 5 | 0 | | |
| 合 計 | | 43 | 42 | 1 | < 参 考 > 人 口 1 万 当 た り 職 員 数 1021.37人 | |
| | | [65] | [65] | | | |

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況 (令和7年4月1日現在)



| | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------|---------|
| 区 分 | 20歳 未 満 | 20歳 〜 23歳 | 24歳 〜 27歳 | 28歳 〜 31歳 | 32歳 〜 35歳 | 36歳 〜 39歳 | 40歳 〜 43歳 | 44歳 〜 47歳 | 48歳 〜 51歳 | 52歳 〜 55歳 | 56歳 〜 59歳 | 60歳 以 上 | 計 |
| 職員数 | 人 0 | 人 3 | 人 4 | 人 3 | 人 4 | 人 7 | 人 5 | 人 0 | 人 0 | 人 6 | 人 4 | 人 2 | 人 43 |

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

| 部門別 \ 年 度 | 令和2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 過去5年間の 増減数(率) |
|-----------|------|----|----|----|----|----|------------------|
| 一般行政 | 35 | 36 | 35 | 35 | 33 | 33 | ▲1(▲2.9%) |
| 教育 | 5 | 5 | 5 | 4 | 4 | 5 | 0(0%) |
| 消防 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0(0%) |
| 普通会計計 | 40 | 41 | 40 | 39 | 37 | 38 | ▲(▲2.5%) |
| 公営企業等会計計 | 6 | 6 | 8 | 7 | 5 | 5 | ▲1(▲15.6%) |
| 総合計 | 46 | 47 | 48 | 46 | 42 | 43 | ▲2(▲4.3%) |

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。